

(別紙)

## 執筆要領

### 1. 投稿論文の体裁

論文は表紙、サマリー、キーワード、本文および図表で構成される。原稿の体裁は、原則として A4 版で上下左右の余白を w2.5cm、35 文字×20 行とする。和文は明朝体、英文は Times 系で 12 ポイントフォントを使用して作成する。表紙から通しページをつける。

### 2. 記載

論文作成は以下の順序による。

#### (1) 表紙

①表題：表題は簡潔で内容をよく表現するものとする 40 文字以内が望ましい。

②所属機関名：全著者の研究機関名の公称を記載する。

③文献請求先および所在地：当該研究の連絡著者の姓名、所属研究機関名および所在地を記載する。

④和文論文の場合は、緒言から引用文献の前までの総文字数。英文論文の場合は、緒言から引用文献の前までの総語数を記載する。

⑤和文論文の表紙では、表題、著者名および所属研究機関名を和英併記文献請求先および所在地を和文のみとし、英文論文の表紙では全て英文のみで記載する。

#### (2) サマリーおよびキーワード

英文サマリーは当論文の目的、方法、結果などを客観的にまとめたものである。項目立ては行わない。2 頁目にサマリー（英文 250 語以内）、キーワード（英文 4 個以上 6 個以内、「Key words」と見出しをつける）、サマリーの和訳の順に記載する。

英文論文の場合も、サマリーの和訳を記載する。

#### (3) 本文

①がん薬物療法に関する原著論文・総説など

一般論文：一般論文の和文論文には、緒言、方法、結果、引用文献などを含め英文論文には、Introduction, Materials and Methods, Results, Discussion, Reference などを含める。必要に応じて対象 (Subjects)、理論 (Theoretical) を独立させ項目立てしても良い。論文の長さは、和

文論文 18,000 文字、英語論文は、5,000 語以内とする。図表は、1 点を 400 文字として換算する。

短報：短報は一般論文に準ずる。論文の長さは和文論文の場合、14,000 字以内、英文論文の場合、4,000 語以内とし図表の点数は 6 点以内とする。

症例報告：症例報告は短報に準ずる。

総説：文字数等は特に定めないが、概ね一般論文に準ずる。推薦論文制度に基づく論文投稿もこれに準ずる。

②がん薬物療法に関するその他の寄稿

いずれも 4,000 文字以内（刷り上がり 2 頁）とする。

#### （4）謝辞

感謝の辞を付記したい場合は、利益相反の前に「謝辞」と見出しをつけ、続けて記載する。

#### （5）利益相反

引用文献の前に「利益相反」と見出しをつけ、続けて「自己申告による COI 報告書」（様式 1）の内容を記載する。

#### （6）引用文献

①本文中に 1)、連続する場合 3-5) のように引用番号を記し、本文の最後の文献の項目に番号順に整理して記載する。

②文献項目の書式は以下を参考として記載する。

雑誌：著者名，題名，雑誌名（イタリック体）発行年；巻：通巻頁。

例：Allison DB, Casey DE, Antipsychotic-induced weight gain: a review of the literature, J Clin Psychiatry.2001; 62: 22-31.

電子ジャーナル：電子ジャーナルのみで公開される雑誌については、原則として論文番号を含めた「doi」を記載する。

例：doi：10. 1136/bmj. b2525

書籍・単行本：著者名，題名，（編者名），書名（イタリック体），発行地（外国の場合のみ）：発行所，発行年：頁。

例：日本臨床腫瘍薬学会，がん患者サポーターケア：じほう，2015：114.

③雑誌・書籍以外の引用について

インターネット、講演要旨集、添付文書、インタビューフォーム、社内

資料および新聞からの引用は、引用文献として含める。

インターネット：URL およびアクセス年月日を URL の後に記載する。  
なお、インターネット上の二次資料からの引用は認めない（例：Up To Date）

講演要旨集：講演要旨集からの引用を記載する場合は、筆頭演者、演題番号または演題名、学術大会名、開催年月、開催地の都市名を記載する。講演要旨集が雑誌に掲載されている場合は、雑誌の記載方法に準じて本文中に記載する。

添付文書など：添付文書、インタビューフォーム、社内資料からの引用は、タイトル、社名、作成日付や改定日付などを漏れなく記載する。

新聞：新聞からの引用は見出し、新聞名、発行日を記載する。

#### （7）図、表、写真

表題や説明は和文または英文とする。図表は論旨の展開に必要な最低限のものに限り 1 頁 1 点ずつ作成する。図には頁右上隅に図と明確に区別して図 1，図 2 のように番号を付す。表は表 1，表 2 のように番号を付し、タイトルおよび説明をつける。本文中の該当する箇所に図表番号を図 1，表 1 のように記載し、下図、次表などの表現を用いない。モノクロ印刷希望の場合はモノクロで、カラー印刷の場合はカラーで作成する。審査用の図は掲載時の実寸（片段の場合は幅 77 ミリ左右一段の場合は幅 110～164 ミリ前後、文字サイズは 6.5 ポイント以上）で作成し掲載用には解像度の高い図を用いる。

#### （8）略号について

初出箇所で正式名を添える。

### 3. 単位の取り扱い

単位は国際単位系（SI）で記載する。ただし mmHg や Osm など医療上汎用されている単位は使用できる。

### 4. 英文の執筆について

論文を英文で投稿する場合には、事前にネイティブスピーカーによるチェックを受ける。

### 5. 審査用原稿（初回稿・修正原稿）および掲載用原稿のファイル形式

表紙から引用文献の頁までを本文として一つのファイルにまとめる。ファイル形式は **PDF** に限る。図表は1頁1点ずつ作成し本文とは別ファイルとし、ファイル形式は **PDF** に限る。